

## 社会福祉法人五常会

★『岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業』認定企業

	創 立	昭和 59 年 1 月 14 日
	代 表 者	理事長 土屋 大二郎
	所 在 地	中津川市瀬戸 1387 番地の 8
	業 種	高齢福祉
	従業員数	231 人（男性 56 人、女性 175 人）

### 働きやすい職場作りのために

- ・ワーク・ライフ・バランスの研修を実施。
- ・タブレット等の導入により介護に専念、所定外労働時間を短縮。
- ・研修の機会均等も目指し、新型コロナ前から 2000 本の動画が用意された Web 研修を実施。個々がいつでもどこでも受講が可能。
- ・研修の受講状況を把握できる体制をつくり、資格取得を支援。
- ・長年、育休取得率 100%を達成。出産前勤務内容を考慮し復帰。  
まで継続的に相談・支援を実施。



- ・福祉の多様な担い手の育成にも力点を置き、定年制 65 歳まで延長、継続雇用促進や外国人・EPA 介護福祉士候補生（EPA）の日本語・資格取得支援も充実させ、全員の国家試験合格に貢献。

#### ◆経営者の考え

日本の労働時間が厳しい状況にある。女性・高齢者そして外国人が本当に働きやすい環境を作っていかなければなりません。そして我々の使命である、高齢者福祉の仕事に生きがいを持って働いていただきたい。そして家庭と仕事の両立を図りながら楽しんで働いていただきたいとの思いで取り組んでいます。人との関わりの中で成り立つ仕事なので、職員を大切にしていくことが利用者の満足度を向上させる道と考えています。ここを出発点とし、さらに働きやすい福祉の職場を作りエッセンシャルワーカーとしての環境の中で、喜びも体感できる体制を作りたいと考えます。

#### ◆従業員の方に伺いました

（デイ・女性従業員の方）

業務省力化により利用者の皆さまと直接関われる時間が増えました。それぞれの利用者の方と個別対応することが多くなり、とても良かったと思っています。

（特養・育休明けの従業員の方）

子供が小さいので何日も急に休みをいただくことが多いが、職場の皆が「大丈夫だった？」と声をかけてくれるので安心して働けます。働く形態も相談しやすいので働きやすいかなと思っています。

（EPA介護福祉士を受験した外国人労働者の方）

日本人の職員は私がいけない時は、誰でもすぐに教えてくれるので、ほとんど困ったことはないです。介護福祉士の勉強をする時は本当に難しかったですが、職員と事務所の人はちゃんとわからないところはしっかり教えてくれるので合格しました。

（令和3年5月13日）